

第4学年〇組 音楽科学習指導案

指導者 ○〇 ○〇

題材 木管楽器の音をききくらべよう

教材 「とんび」

「メヌエット」(ビゼー作曲)

「ガボット」(ラモー作曲)

「クラリネットポルカ」(ポーラン作曲)

本学級の実態
○ 音楽を聴くことへの興味・関心を持ち、楽しんで聴くことができるようになってきている。 ○ いろいろな楽器があることは知っているが、音色に気をつけて聴く経験は少ない。

このような教材で
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞曲「とんび」(原曲とんび)は、とんびが大空をゆっくりと飛んでいる様子をフルート、クラリネット、オーボエの3つの木管楽器で表した曲である。 ・ 第一部は透明な質感でやわらかい音色のフルート、第二部は繊細な感じのするオーボエ、第三部は、落ち着いた感じのするクラリネット、第四部はお話をしているような形で3つの木管楽器すべてで演奏されている。 ○ 楽曲「メヌエット」は、フルートで優雅に演奏された楽曲である。 ○ 楽曲「クラリネットポルカ」は、クラリネットで、ユーモラスで軽快、躍動的に楽しい踊りの様子を表した曲である。 ○ 楽曲「ガボット」は、ゆったりとしたテンポのガボットのリズムにのせて、オーボエの繊細な音色で、表した曲である。 この4曲は音色を感じ取りやすく、親しみやすい教材である。このような木管楽器の演奏を聴かせることで楽器の音色の特徴に気がつくことができると考える。

このような指導・支援で
<ul style="list-style-type: none"> ○ つかむ段階では、3つの木管楽器で演奏された鑑賞曲「とんび」を聴かせ、3つの木管楽器で演奏されていることを知らせる。既習の歌唱曲「とんび」と比較させたり、どのような楽器で演奏されているか、想像させたりしながら、題材全体のめあてである「木管楽器の音をききくらべよう」をとらえさせる。 ○ 深める段階では、鑑賞曲「とんび」に出てくる3つの木管楽器の音の出る仕組みと音色の特徴を結びつけて考えさせる。音色の特徴を感じ取らせるために、それぞれの楽器の音色を比べながら聴かせていく。また、楽器の仕組みや特徴を知らせたり、音を出す仕組みの体験をしたりすることで、木管楽器への関心を高め、興味をもたせ、3つの楽器の音色を感じ取らせるようにする。その際に、実際にフルート・クラリネット・オーボエで演奏されたVTRを見せたり、楽器の音色の特色が生かされた曲を聴かせたりすることによって、音色の違いを明確にとらえさせる。 ○ 味わう段階では、3つの木管楽器の音色の特徴や音の美しさが表された「メヌエット」、「クラリネットポルカ」、「ガボット」の3曲を聴くことで、それぞれの楽器の音色の美しさを味わわせることができるようにする。

指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 木管楽器の音色の特徴や違いに関心を持って、進んで演奏を聴くことができる。 ○ 木管楽器の演奏を聴き、感じ取ったことを言葉で表現するなどして、各楽器の音色の特徴や演奏のよさに気づくことができる。

指導計画（全2時間）

	つかむ・深める ①(本時)	深める・味わう ①
ね ら い	木管楽器の音色に興味をもって聴き、3つの木管楽器の音色の違いを感じ取ることができる。	木管楽器の音色に興味をもち、それぞれの演奏のよさを味わい、音色を聴き取り、音色や演奏のよさを言葉などで自分なりに表現することができる。
主 な 学 習 活 動 と 内 容	<p>1 鑑賞曲「とんび」を聴いて、本時のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">木管楽器の音色をききくらべよう。</div> <p>2 3つの木管楽器の音色の違いに気をつけて聴く。 (フルート・オーボエ・クラリネット)</p> <p>(1) フルート・オーボエ・クラリネットのそれぞれの楽器の音色から感じられることを考えながら聴く。</p> <p>(2) 音の出る仕組みや特徴を感じながら聴く。</p> <p>3 本時学習をまとめ、次時学習について知る。</p> <p>(1) 3つの楽器の音色を聴き取る。</p> <p>(2) 本時学習のまとめをし、次時学習について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3つの木管楽器の音色の違いには音の出る仕組みが関係していることがわかりました。私は、とんびがのびのびした感じがするのでオーボエの音色が好きです。今度は、他の曲で木管楽器の音を聴き比べたいです。</div>	<p>1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてを確認する。</p> <p>○ 木管楽器の演奏を聴くことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">フルート・クラリネット・オーボエの演奏を聴いて、それぞれの楽器のよさを感じ取ろう。</div> <p>2 3つの鑑賞曲を聴く。</p> <p>(1) フルートの音色のよさを感じながら、「メヌエット」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名, 作曲者 ・フルートのなめらかな旋律 <p>(2) オーボエの音色のよさを感じながら、「ガボット」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名, 作曲者 ・オーボエの繊細な旋律 <p>(3) クラリネットの音色のよさを感じながら、「クラリネットポルカ」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名, 作曲者 ・クラリネットの軽快な旋律 <p>3 曲全体を聴き、それぞれの演奏のよさを聴き取る。</p> <p>○ 楽器の音色や演奏のよさを味わって聴くこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今日の3曲を聴いて、どの楽器にもよさがあることがわかりました。私は特に○○の曲で演奏された楽器が好きでした。</div>

本時指導の考え方

本時は、「とんび」を木管楽器の音色に興味をもって聴き、3つの木管楽器の音色の違いに気づくことができることをねらいとしている。

そこで、まず導入段階では、鑑賞曲「とんび」の前半部分を聴かせ、フルート・オーボエ・クラリネットの木管楽器で演奏されていることを伝え、本時学習のめあてについて話し合わせる。

次に展開段階では、「とんび」の3つの木管楽器の音色の違いに気をつけて聴かせるようにする。そのために、それぞれの楽器で演奏されたとんびからどんな感じを受けたか、考えさせながら聴かせる。

ここでは、3つの木管楽器の音の出る仕組みや特徴を知らせるために、実物の楽器を見せたり、VTRを見せたりする。また、実際にビンやストロー笛で音の出る仕組みを体験させることで、木管楽器の音色に興味を持たせるようにする。このことで、音の出る仕組みと音色を結びつけて聴き取らせるようにする。

それから、楽曲をもう一度聴かせ、それぞれの楽器の音色の特徴やよさ、(それぞれの楽器が重なり合う美しさ)を味わわせるようにする。

終末段階では、とんびを再度聴かせ、さらにそれぞれの楽器の音色の特徴やよさを味わわせ、学習をまとめる。

本時指導案(1/2)

1 本時の目標

於：音楽室

- 木管楽器の音色に興味をもって聴き、3つの木管楽器の音色の違いを感じ取ることができる。

2 準備

〈教師〉CD、オーケストラの写真、VTR、楽器の写真、フルート、オーボエ、クラリネット、ビン、ストロー笛

3 展開

過程	主な学習活動と内容	○評価基準 ■支援																
つかむ / 深める / 味わう	<p>1 鑑賞曲「とんび」を聴いて、本時のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 鑑賞曲「とんび」の前半部分を聴き、演奏されている楽器について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フルート・オーボエ・クラリネット ○ 3つは、木管楽器の仲間であること <p>(2) 本時のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;">3つの木管楽器の音色をききくらべよう。</div> <p>2 3つの楽器で演奏されている「とんび」を聴いて、音の出る仕組みと音色の特徴を結びつけて聴く。</p> <p>(1) それぞれの楽器の音色を感じ取る。</p> <table border="1" data-bbox="150 1003 1064 1193"> <thead> <tr> <th>楽器</th> <th>音色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フルート</td> <td>さわやかな感じ きれい</td> </tr> <tr> <td>オーボエ</td> <td>のどかな感じ なつかしい</td> </tr> <tr> <td>クラリネット</td> <td>どっしりとした感じ 暗い</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 3つの楽器の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの木管楽器の音の出る仕組みと音色の特徴を結びつけること <table border="1" data-bbox="150 1267 1064 1610"> <thead> <tr> <th>楽器</th> <th>音の出る仕組み・楽器についてわかったこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フルート</td> <td>歌口に息をふきあてる もとは、黒檀などの木でつくられていた 最近は金属製が多いが木管楽器の仲間 木管楽器の中では、高音部を受け持つ</td> </tr> <tr> <td>オーボエ</td> <td>2枚のリードを息で振動させる 管弦楽では、基準となる音を出す</td> </tr> <tr> <td>クラリネット</td> <td>1枚のリードを息で振動させる 腹部に響く低い音から高音まで表現できる。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビン、ストロー笛を使って、音の出る仕組みを体験すること <p>(3) パートごとのとんびを、音色の違いを確認するために聴く。</p> <p>3 本時学習をまとめ、次時学習について知る。</p> <p>(1) 鑑賞曲「とんび」を聴いて、3つの楽器の音色を聴き味わう。</p> <p>(2) 次時学習について知る。</p>	楽器	音色	フルート	さわやかな感じ きれい	オーボエ	のどかな感じ なつかしい	クラリネット	どっしりとした感じ 暗い	楽器	音の出る仕組み・楽器についてわかったこと	フルート	歌口に息をふきあてる もとは、黒檀などの木でつくられていた 最近は金属製が多いが木管楽器の仲間 木管楽器の中では、高音部を受け持つ	オーボエ	2枚のリードを息で振動させる 管弦楽では、基準となる音を出す	クラリネット	1枚のリードを息で振動させる 腹部に響く低い音から高音まで表現できる。	<p>■ 木管楽器の音色を聴きとってみたい、という意欲を高めるために、オーケストラの写真を提示する。</p> <p>■ 音色を感じ取る際に、聴き比べる視点をあたえるようにする。また、なかなか表現できない子どものために、曲の感じを表現するためのプリントを用意しておく、そこから言葉を選んで書くように指導する。</p> <p>■ まず、それぞれの演奏を聴かせ、その後演奏の仕方についてのVTRを見せる。</p> <p>■ 実際に楽器を提示し、音の出る仕組みを体験させる。</p> <p>■ 3つの楽器の音色の特徴を確認するために、もう一度聴かせ、クイズ形式にして出題する。</p> <p>■ 好きな楽器の音色はどれだったか理由も含めて書くようにさせる。</p> <p>○ フルート、クラリネット、オーボエの音色を聴き取り、そのよさを自分なりに感じることができる。</p>
楽器	音色																	
フルート	さわやかな感じ きれい																	
オーボエ	のどかな感じ なつかしい																	
クラリネット	どっしりとした感じ 暗い																	
楽器	音の出る仕組み・楽器についてわかったこと																	
フルート	歌口に息をふきあてる もとは、黒檀などの木でつくられていた 最近は金属製が多いが木管楽器の仲間 木管楽器の中では、高音部を受け持つ																	
オーボエ	2枚のリードを息で振動させる 管弦楽では、基準となる音を出す																	
クラリネット	1枚のリードを息で振動させる 腹部に響く低い音から高音まで表現できる。																	

発問計画

<導入>

2:15

1 今日は、この学習です。何でしょうか。〈オーケストラの写真提示〉

C:オーケストラ

2 どの楽器知ってる？

今日学習するのは、このオーケストラの中にある楽器3つ、知っている楽器ありますか。

(フルート→クラリネット→オーボエの順に楽器の名前タイトルカードを出す)

この3つの楽器は木管楽器という仲間です。

フルート、オーボエ、クラリネットがでてくるよ。おもなメロディーだけよく聴いて、楽器が変わったな、と思ったら手をあげてください。

何番がどの楽器で演奏されているか、考えながら聴きましょう。

【とんび 流す】

3 何の鑑賞曲だったでしょうか。

C:とんび

4 さあ、何番がどの楽器で演奏されているか、わかりましたか？

C:わからない。

C:1番は、フルート？2番は？わからない。自信がない。

6 じゃ、今日は詳しくどの楽器の音色なのかが、わかるようになるために、学習していきましょう。

※めあて

板書

3つの木管楽器の音色をききくらべよう

2:20

<展開>

7 それぞれの楽器の音を詳しく学習していこうね。それぞれの楽器は、どんな感じがするでしょうか。

学習ノートに書いてみましょう。 【パートごとのとんび 流す】 ※書き終わるまで2回流す

〈発表〉フルートは・・・きれいな感じ リコーダーに比べて音が少し高い

8 なるほど。では、次にオーボエの音色を聴いてみましょう。フルートと比べてどうかな、聴いてみましょう。

〈発表〉オーボエは・・・フルートに比べたら、高い のびのびした感じ

9 では、最後はクラリネットの音色を聴きます。2つに比べてどうでしょうか。

〈発表〉クラリネットは・・・一番低い 堂々としている

10 たくさん、感じたことができましたね。では、どうして同じ木管楽器なのに、全部感じ方が違うのでしょうか。

C:演奏の仕方(ふきかた)がちがうから 形が違うから 大きさが違うから

11 みんなが言ってくれたように、楽器には、それぞれに違いがありそうですね。

その中でも、①どんな風に音をだしているのか。②楽器について分かったことをプリントに書きましょう。

〈VTRで確認〉

12 まずはどんな演奏の仕方をしていましたか。

C:フルートは横むきでふいているけど、オーボエ・クラリネットはリコーダーの吹き方に似ていて、たて向きで吹いている。それになんかへんなものをふいている。

13 フルートはどうやって、音を出していましたか。

C: 歌口に息をふきあてて音をだす。また、きれいな音でることがわかりました。

14 フルートはこの歌口という穴に息をいれて音を出します。 ※写真拡大図提示
では、オーボエはどうでしたか。

C: オーボエは、なんか口元がちがった感じがした

15 何を使って、音を出していたのでしょうか。

C: リードっていった

16 リードといいます。みんなでいってみましょう。

C: リード

17 これは、あしという植物からできたものです。リードは2枚使います。この2枚のリードの間に息をいれてリードをふるわせて音を出しているのです。 ※写真拡大図提示

他にオーボエのことで分かったことはありますか。

C: 音がよくとおって、オーケストラで音あわせに役立つ

18 最後のクラリネットはどうやって音を出していましたか。

C: 1本のリードで演奏しています。また、低い音から高い音まで出せる。
お腹にひびく音がでる。

19 VTRでよく大きさとか、分かったかな。今日は実際に楽器を持ってきました。

ふき方はわかったけど、実際にどんなふきかたするんでしょう。やってみたい？今日は、歌口に息をふきこむ方法とリードで息をふるわせて音をだす仕組みをみんなで体験してみたいと思います。

20 どうだったでしょうか。

C: 難しい

▼ 21 なかなか音を出すのは難しい楽器なんです。

2:50

さあ、みんなもう3つの楽器の音色は聴き取れるようになりましたね。では、問題です。

今から流す曲はフルート、オーボエ、クラリネットのどの楽器で演奏された曲でしょうか。フルートは1番、オーボエは2番、クラリネットは3番で、どの楽器が合図してください。【パートごととんび 流す】

<終末>

22 今日は、3つの楽器の音色の違いを聴きとってきたけど、どうして音色がちがうのか、わかりましたか。

C: 音のでる仕組みがちがったから

4 では、今日学習したことを思い出しながら、もう一度最初にきいたとんびを聴いてみましょう。

聴くときは、楽器を演奏しているマネをしながら聴いてみましょう。

【とんび 流す】

23 自分はどの楽器の音色のとんびが好きだったか、理由も書きましょう。

26 今日、どの演奏が好きだったか、理由も書いてみましょう。

【発表】今日の学習で

27 次の時間は、3つの楽器で演奏された違う曲を聴いていきましょう。

▼ 28 これで今日の学習を終わります。

3:00

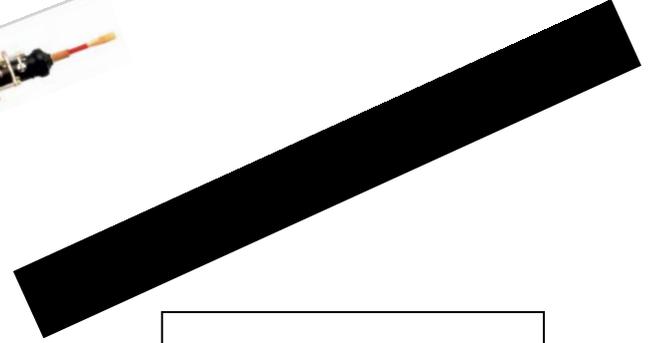
音楽学習ノート

4の 名前()

かんしょう曲[とんび]

めあて

木管楽器の音色のちがいをききくらべよう。



楽器の名前

それぞれの楽器の音色から どんな感じがしますか。
また、音の出る仕組みやそれぞれの楽器についてわかったことを書こう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

今日の学習で

[]のえんそうがすきです。

そのわけは、

今日 わかったこと

--



とんな音楽かな？



次のような言葉で 曲の感じを表現しよう

元気な	元気な	おちついた	落ち着いた	悲しい	悲しい
	力強い		美しい		弱々しい
	活発な		静かな		さびしい
	どうどうとした		ゆったりとした		
	生き生きとした		のどかな		こわい
	たくましい		ゆたかな	ふしぎな	
	元気もりもり		ゆうゆうとした	ぶきみな	
	勇気が出る・わいてくる		リラックスできるような	あやしい	
	迫力がある		なつかしい	ときどきする	
	かっこいい		どっしりとした	暗い	
	はげしい		おだやかな		
	インパクトがある		どっしりとした		
	重々しい				
はずむ	とぶような			その他	なごやかな
	走るような				おとなしい
	心がはずむような				はげしい
	うきうきするような	なつかしい			あたたかい
	スキップするような	うっとりとした			夜の感じ
	きらきらしているような	思い出すような			夕ぐれの感じ
	かろやかな	親しみのある			おどけた
	体が動き出すような	夢見るような			つめたい
楽しい・明るい	楽しい	やさしい	いのるような		サンバ風
	明るい		きれいな		パレード風
	うれしい		きよらかな		行進曲風
	しあわせな		心あたたまる		〇〇風
	かがやかしい		あこがれる		涙がでそう
	はなやかな				鳥肌がたつ
	歌うような				
	ほがらかな				
	かわいい				
	さわやかな				

